

どんな状況でも自分らしく生きる！

～新しい生活様式の中でのクラブ活動の取り組みを紹介します～

メンバーからの希望で生まれてきたクラブ活動もコロナの影響で長らく活動を自粛していました。コロナ禍で以前と同じように活動はできないけど、「今やれる形はあるはず」と方法を模索しながら活動を再開し始めました。

ようやく7月からクラブが再開しました。

～再開までの道のり～

- ① 「卓球をやりたい！！」の声がメンバーより多数上がる
- ② ミーティングに向けて密にならないための広い会場探し、下見、予約
- ③ ミーティングにてコロナ対策を立てる

再開後のクラブでは「卓球が好き」「気分転換になる」「クラブの仲間が大切」という気持ちを再確認し合いました。

“自分らしく生きる”そのひとつに、「卓球クラブ」があります。

まきのほらたっしゅう 牧之原卓球クラブ

しまだたっしゅうどうこうかい 島田卓球同好会

卓球同好会始動に向けて、メンバーミーティングを重ね、これからの希望や不安を共有しあいました。コロナ対策については、掲示板をつくり、同好会参加者以外のメンバーからの意見も聞き、「今やれる形」を考えました。

そして、9/30に卓球同好会が開かれました！「みんなと卓球ができて幸せ～」「久しぶりに卓球ができて楽しかった」と感想がきかれ、新たなスタートをきれたことに喜びを感じました。

フットサルクラブ

メンバーの声で先日久々に集まり、ミーティングを行いました。ミーティングでは、それぞれがフットサルクラブに対する思いを口にし、この状況下への不安が入り交じりながらも、「今だからこそまた皆でやりたい」という気持ちを共有しました。また、密集や接触が難しい中、試合ができなくても工夫しながら

練習はできることを確認し、再開に向け動き出しました。

早く新しいユニフォームを着て思いきり試合ができる日を願いつつ、

フットサルクラブは歩んでいきます！！



なるほど ワンポイント講座

『就労継続支援B型事業所のサービス管理責任者 (通称“サビ管”) ってなに?』



サビ管の役割は?

サビ管は、利用者さんの“自分らしい働き方”を応援する就Bのまとめ役!

具体的になにをするの?

自分らしい働き方を応援していくため、個別支援計画を一緒に作り、その計画に基づきチームで応援します。個別支援計画は、ひとりひとりの望む暮らし(サービス等利用計画)を基に作成します。

就Bでの姿だけではなく生活全体を見渡して応援していくため、関係機関や家族と連絡を取り合い、必要な時には、ケア会議の主催や参加もしています。

また、誰もが自分らしい働き方ができる地域をつくらせていくため、自立支援協議会にも参画しています。



県で行われる法定研修を受講します。

どうやってサビ管になるの?

受講するためには、実務経験が必要です。

わたしが就Bのサビ管です

『サビ管をよく知るメンバー、スタッフより一言紹介をしてもらいました』

あじさい 岩川純子



『ぎんぱー(愛犬)にはメロメロなあじさいの守護神』
By あじさい原

りなむ 田中郁美



『一緒にいると心が温かくなる人』
By りなむ I.N

こむぎ 芝田礼子



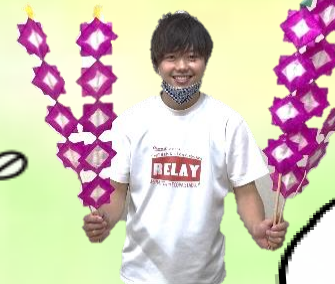
『相談しやすいこむぎのお母さん』
By こむぎ坂本

ワークステップドレミ 小関徳子



『ほんわかムードただよう…よく話をきいてくれるよ!』
By ドレミ内藤

さがら作業所 朝比奈弘樹



『柔和で優しい。慰めやりのあって協調性がある』
By さがら S.H A.N 要一

わたしたちは、ひとりひとりの思い、力を大切にしています!